

「若槻地区福祉大会」を開催しました

2月4日(土)、檀田地区センターにおいて、3年ぶりに福祉大会を開催しました。コミわか会長・副会長、各区副区長、民生児童委員、代表福祉推進員及び代表健康委員の参加による総勢51名での開催となりました。

基調講演として、長野市地域包括支援センター若槻ホームによる「成年後見制度」について、①制度の目的 ②制度の概要 ③制度を活用するための手続きについて講演していただき、若槻ホームでかかわった事例紹介がありました。認知症高齢者等が自分らしく暮らせるため、その権利を守る手段の一つとして成年後見制度の果たす役割について理解を深めることができました。

続いて「地域だすけあい事業」について長野市社会福祉協議会から、当事業の昭和63年からの発足の経緯と今日に至る課題等について説明があり、嵐崎たすけあい事業コーディネーターから事業の概要と若槻地区内での活動実績について、梁川協会会員から日々の活動状況について発表がありました。コーディネーターからは、現在登録している協力会員は13名いるが、協力会員の高齢化等もあり実働7人～10人と少なく、協力会員登録への積極的参加のお願いがありました。



最後に各地区での福祉活動(サロン活動、はつらつ体操、課題・問題点等)の取組みについて発表をしていただきました。特徴的な発表としては、サロン活動では、「映画観賞会」、弁護士による出前講座「知って防ごう詐欺被害」、「津軽三味線のひと時」など「お茶飲まないサロン」の工夫開催がありました。また、はつらつ体操は多い地区では年30回以上開催していました。各地区、福祉推進員、健康委員、民生委員等と連携しながら創意工夫して取組んでいる発表がありましたが、どの地区も共通で、スタッフ不足、コロナ禍での事業の

中断、参加者の固定化・高齢化に伴う移動手段の問題、若い世代とのギャップ等があり、苦労していることが改めて浮き彫りとなりました。

(福祉部会)

三登山産廃報告会を実施しました

善光寺平を見下ろす三登山(みとやま)、髻山(もとどりやま)は長野市北部に位置し、戦国時代は北国街道沿いの要衝でした。この三登山、髻山にはトレッキングコースがあり、若槻の「三登山トレッキングコース愛護会」がコース整備やトレッキングを開催しています。

この「三登山」中腹に産業廃棄物施設が設置されています。この地に昭和62年からH社が自社廃棄物の埋め立てを開始しました。当時は届け出義務がなく、野焼きや埋め立てが行われ、昭和63年から県保健所が立ち入り検査や指導を開始しました。

平成11年に長野県から長野市に廃棄物関連業務が移管され、市は重点監視指導対象施設として立入検査や指導を行っています。平成15年に施設の設置許可を取得し事業を行っていますが、平成14年に火災が発生。令和元年にも施設内で火災が発生し消防団若槻分団などが消火にあたりました。施設の地籍は浅川坂中ですが、山火事や水質汚染が発生すれば若槻地区に大きな影響を及ぼすため、施設の状況について関心を持つことが大切です。

長野市は毎年定期的に施設の立入検査(本年度24回)及び近辺の水質調査を行っており、2月3日(金)、今年状況について報告がありましたのでお知らせいたします。

1. 施設の状況：廃棄物の保管量が増加しており搬出及び防火対策等について指導(前回の警告書発出時より保管量は減少傾向)
2. 防火対策：
 - ①水中ポンプ及び受水タンクは設置済
 - ②消火器は3か所6本設置済
 - ③木くず受入れにおける発火物の混入はなし
 - ④緊急連絡方法、事故発生時の対応手順は確立済
3. 水質調査結果：周辺8か所で実施し、全項目(最大70項目)において基準値以内を確認
4. 長野市の対応：
 - ①長野市は引き続き検査体制を継続し、保管量の適正化や不適切事項の是正に向け指導するとともに若槻地区に状況報告を行う。
 - ②周辺の水質検査を定期的実施し情報提供を行うとともに異常値を確認した場合は、原因の特定及び対応を行う。



(自然環境部会)